

目標達成計画

作成日: 平成29年 8月 7日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	52	ホームの衛生面を重視するために、トイレを使用する際、他の空間と区別する工夫が必要である。	居住空間とトイレを区別し、衛生面を重視する。	トイレの入り口には、トイレ用のスリッパを設置し、トイレを使用する時には履き替えるようにする。また、トイレ入り口に、トイレ使用時にはスリッパを履き替えるよう、入居者にも分かるように貼り紙をするようにする。	1ヶ月
2	6	前回行った接遇の勉強会において内容が薄かったため、スタッフ同士で、利用者に対してスピーチロックとならない様、言葉の言い換え方を工夫、検討する勉強会の開催が必要である。	スピーチロックのないホームを目指していく。	グループホーム内の勉強会にてスピーチロックを含む身体拘束の勉強会を開催し、スタッフ全員で理解を深めていく。	1ヶ月
3	35	非常時の備蓄品は確保されているが、緊急時に持ち出せるような、利用者情報の整備が必要である。	災害時に避難する際、第三者が見てもわかるような情報整備をし、いつでも持ち出せるようにする。	災害時支援カードの作成。ADL状況や飲んでいる薬、顔写真、緊急連絡先等を盛り込んで作成し、非常持ち出し袋に保管し、いつでも持ち出せる様にする。	1ヶ月
4	35	毎月避難訓練をしているが、今まで地域の消防団との合同訓練が必要である。	非常時に備えて、地域との連携を深めていきたい。	地域の自治会長への相談。地域の消防団への呼びかけ。合同避難訓練を開催し、協力関係を構築していく。	6ヶ月
5					ヶ月